

札幌市発達障がい者支援地域協議会組織図 (令和7年度)

発達障害者地域 支援マネジャー

- ・困難ケース支援(機関支援)の積み重ね
- ・困難ケースの支援に必要な仕組みの検討
- ・大人の課題から把握できた子ども時代から必要な予防への取組 など

地域課題の提起

全体会

- ・発達障がい児者、家族等への支援体制に関する課題の整理、情報共有、連携

【20名以内/互選により会長/任期2年/臨時委員可】
発達障がい当事者・その家族、学識経験者、保健・医療、障害福祉サービス
自立支援協議会、自閉症・発達障害支援センター、関係行政機関 等

事務局

- ・全体会・部会の庶務、準備を担う
- ・部会・プロジェクトチームの進捗管理

障がい福祉課(発達障がい担当・運営指導係)
自閉症・発達障害支援センターおがる
子ども発達支援総合センター

部会

理解促進部会

目的:発達障がいについての正しい理解の普及・啓発の検討
事業:親の会・おがる共催研修への参画、インターネットを活用した情報発信等
【部会長】自閉症・発達障害支援センターおがる職員

家族への支援部会

目的:発達障がいがある子どもを持つ家族を応援する体制検討
事業:ペアレントメンターの活用/サポートファイルさっぽろ
普及啓発/ペアレントプログラムの普及拡大 等
【部会長】子ども発達支援総合センター子ども心身医療課相談連携担当係長

・互選により部会長/部会設置目的・活動内容を決定

抽出した課題

継続する課題

プロジェクトチーム(有期限)

支援のつながり プロジェクト

目的:市内にある様々な社会資源について、その支援内容をより具体的に把握できる社会資源マップを作成することで、家族への支援に活用できるようにするため
事業:年代ごと及びそのつながりがわかる社会資源マップを作成する
【代表】子ども発達支援総合センター子ども心身医療課相談連携担当係長

発達障害児者地域生活支援 モデル事業

目的:発達障害児者及びその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、発達障害児者の特性を踏まえた支援手法を開発するためのモデル事業を実施し、全国への普及に繋げる
事業:地域における強度行動障害者支援のための支援体制構築
強度行動障害者支援のための人材育成研修、企画・推進委員会での事例検討等
【代表】障がい福祉課発達障がい担当係長
【モデル事業受託先】社会福祉法人はるにれの里

・互選により代表/全体会で抽出された課題への具体的な取組/活動期限を設定